

文学散歩

おだわら



明治の頃より小田原には、その温暖な気候や城下町の風情に惹かれ、皇族や政財界の重鎮など著名な人物が多く訪れ、居を構えました。中でも文学館のある西海子小路周辺は、当時の名だたる作家たちが住まい、その有形無形の足跡がまらの記憶として現在に息づいています。



さいかち
西海子小路
地名の由来は、この地に「さいかち」の木が植えられていたためといわれている。江戸時代は武家屋敷が建ち並び、明治以降は別荘地として知られ、多くの文学者がこの界隈に住んだ。春には美しい桜並木が桜の名所の一つになっている。

小田原文学館
小田原文学館の建物は、幕末の土佐藩の志士で、明治維新後は、警視總監、宮内大臣などを歴任した田中光顕伯爵の別邸として建てられたもの。本館は、南欧風建築(昭和12年)、別館の白秋童謡館は純和風建築(大正13年)で、ともに国登録有形文化財に指定されている。

右上:小田原文学館本館
右下:別館白秋童謡館



尾崎一雄の書斎 北村透谷碑 北條秀司碑 藤田湘子句碑

編集・発行:無尽蔵プロジェクト 文学のまちづくり
お問い合わせ TEL 0465-24-1055 (小田原市立図書館)

西海子に居住した文学者たち

(案内板等は設置してありません)

● 人車鉄道・軽便鉄道 ● 西口コース⑦参照 ● 三好達治 西口コース⑧参照 ● 谷崎潤一郎 西口コース⑨参照

1 齋藤緑雨
「海よし山よし天気よし」と僅か十文字に小田原を描写して友人の幸徳秋水に出した手紙は有名。

2 小杉天外
「魔風恋風」を読売新聞に連載、大当たりする。

3 村井弦斎
ベストセラー小説「食道楽」で好評を博す。

4 岸田國士
劇作家。獅子文六らと文学座を創設。「どん底」舞台稽古中に倒れる。

5 坂口安吾
三好達治の誘いで小田原に住んだ。

6 北條秀司
箱根登山鉄道の事務責任者となり小田原に赴任。劇作家を志し、岡本綺堂に弟子入り。「王将」「文楽」など多くの名作を残す。

7 福田正夫
小田原出身の詩人。「民衆」を創刊。今も歌われる「小田原音頭」は福田正夫の作品。

8 北原白秋
白秋は、伝蔵寺に移り住むまでの半年余を御花畑の借家に暮らした。ここで白秋の「雨」が生まれた。

9 藪田義雄
白秋門下。処女詩集「白沙の駅」は、生家近くの小田原の浜をこれほど素直に歌いあげた詩はないと評判だった。

10 花園幼稚園
谷崎潤一郎の娘の鮎子を通ったキリスト教の幼稚園。北原白秋の息子隆太郎も通った。

小田原文学館へ

1 鈴木貫介歌碑から 早川駅まで 0.2km/約3分

2 かめや旅館跡 鈴木貫介歌碑から 0.1km/約1分

3 真福寺 早川駅まで 0.3km/約4分

4 早川観音(真福寺観音堂) 川崎長太郎文学碑から 0.05km/約1分

5 福田正夫詩碑(久鈴寺) 早川観音から 0.3km/約3分

6 早川橋 久鈴寺から小田原漁港を経て 0.8km/約12分

小田原文学館へ 早川橋から 0.7km/約13分

早川コース 早川駅スタート

大正7年早川に生まれる。農業のかたわら歌生活に入り、小田原に転居してきた三好達治や川田順平師事した。歌碑には「瀟沙にありともしもなき顔を拾ひ 鬮は赤し夕焼けにけり」と刻まれている。

谷崎潤一郎は大正2年、27歳のとき半年間ほどかめや旅館に滞在した。現在もライトアップの門が残っている。

真福寺の境内に、川崎長太郎の文学碑が建っている。「春来たる海辺のみちで鳥のまね」この碑文は吉行淳之介が選出している。

川崎長太郎が最も好んだ散歩道の折り返し地点。檀家のおばあさんが交代で留守とお茶の接待をする茶店があり、黒砂糖を使った素朴な駄菓子屋が評判だった。

「民衆」を創刊した福田正夫の菩提寺。山門を入った右手に福田正夫の詩碑があり、正夫の「ふるさと」の海にて」と題する詩が刻まれている。戦国時代の寺では千句の連歌の会があり、北條氏も度々出席した。

1 鈴木貫介歌碑
2 かめや旅館跡
3 真福寺
4 早川観音
5 久鈴寺
6 早川橋

小田原出身・ゆかりの文学者たち

氏名	生年	没年
村井弦斎	1863(文久3)	1927(昭和2)
小杉天外	1865(慶応元年)	1952(昭和27)
齋藤緑雨	1867(慶応3)	1904(明治37)
北村透谷	1868(明治元)	1894(明治27)
長谷川如是閑	1875(明治8)	1969(昭和42)
川田順	1882(明治15)	1966(昭和44)
北原白秋	1885(明治18)	1942(昭和17)
辻潤	1884(明治17)	1944(昭和19)
辻村伊助	1886(明治19)	1923(大正12)
谷崎潤一郎	1886(明治19)	1965(昭和40)
加藤一夫	1887(明治20)	1951(昭和26)
岸田國士	1890(明治23)	1954(昭和29)
福田正夫	1893(明治26)	1952(昭和27)
大木博夫	1895(明治28)	1977(昭和52)
牧野信一	1896(明治29)	1936(昭和11)
井上康文	1897(明治30)	1973(昭和48)
中河与一	1897(明治30)	1994(平成6)
尾崎一雄	1899(明治32)	1983(昭和58)
三好達治	1900(明治33)	1964(昭和39)
川崎長太郎	1901(明治34)	1985(昭和60)
藪田義雄	1902(明治35)	1984(昭和59)
北條秀司	1902(明治35)	1996(平成8)
坂口安吾	1906(明治39)	1955(昭和30)
北原武夫	1907(明治40)	1973(昭和48)
鈴木貫介	1918(大正7)	2001(平成13)
藤田湘子	1926(大正15)	2005(平成17)